

第4章 願いをかなえるまち かわさき

1 市民の願いと政治のはたらき

動物愛護センター



動物愛護センターの外観



サマースクールの様子



愛護センター内施設の様子

なかはら かみひら ま かわさき
 中原区上平間に川崎市動物愛護センターがあります。ここは動物を通じて、だれもがつどい、いこい、学べる交流施設です。もともとは高津区にありましたが（旧動物愛護センター）、2019（平成31）年2月に今の場所に移転、開設しました。また、市民から愛称を募集し、「ANIMAMALL（アニマモール）かわさき」と決めました。

新しい動物愛護センターになり、それまで1日平均6人だった来所者数が、1日平均65人となり、多くの市民が利用する施設となりました。

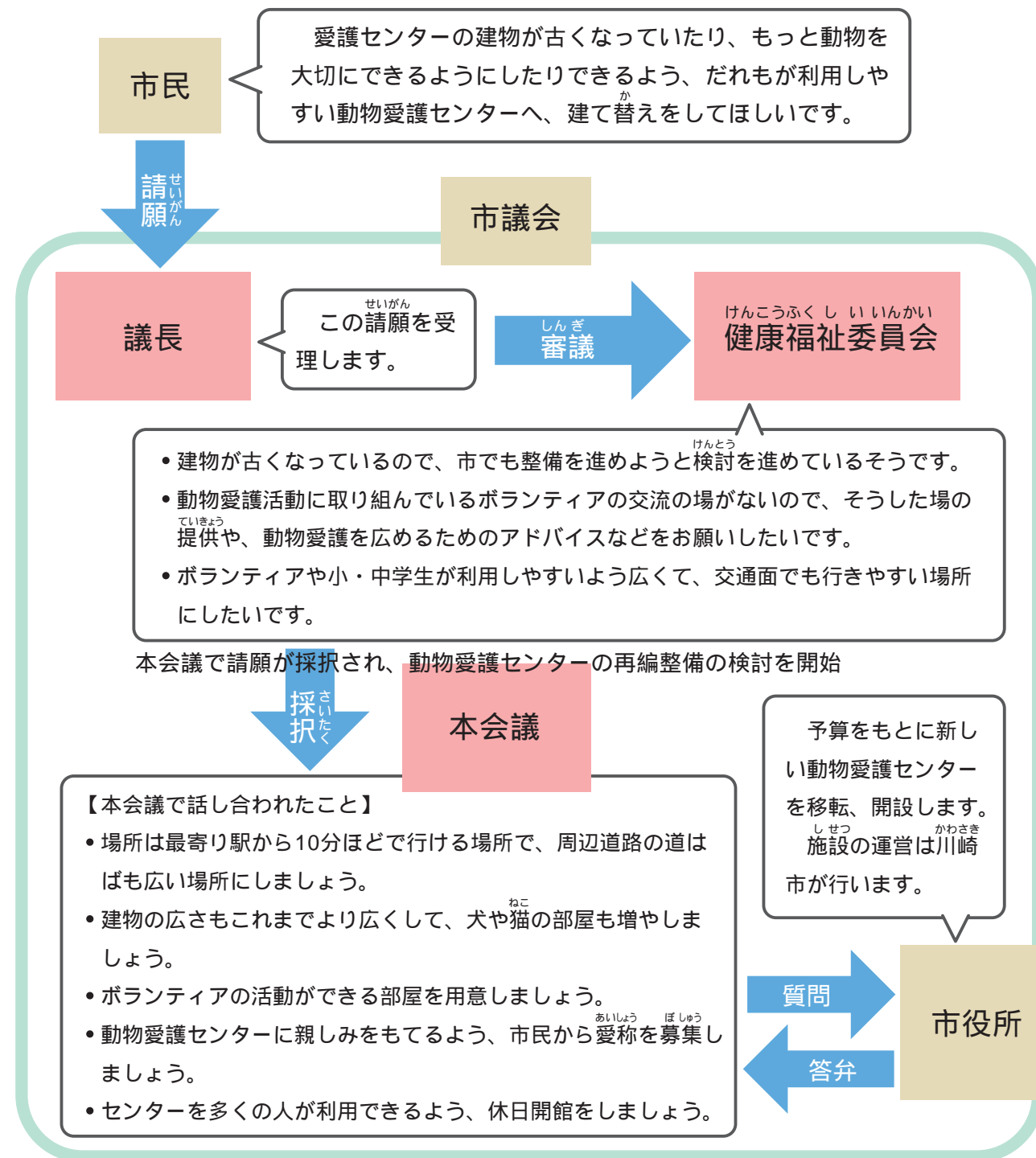


旧愛護センターの外観

どのようにして新しい動物愛護センターができたのかな？



動物愛護センター（ANIMAMALL）ができるまで



新 動物愛護センター
 ANIMAMALL かわさき
 平成31年2月 開設



ちいき しえん
地域子育て支援センター



小さい子たちが遊んでいるよ。ここは保育園や幼稚園とどこが違うのかな。



ちいき しえん
地域子育て支援センター 花の台 深津先生のお話



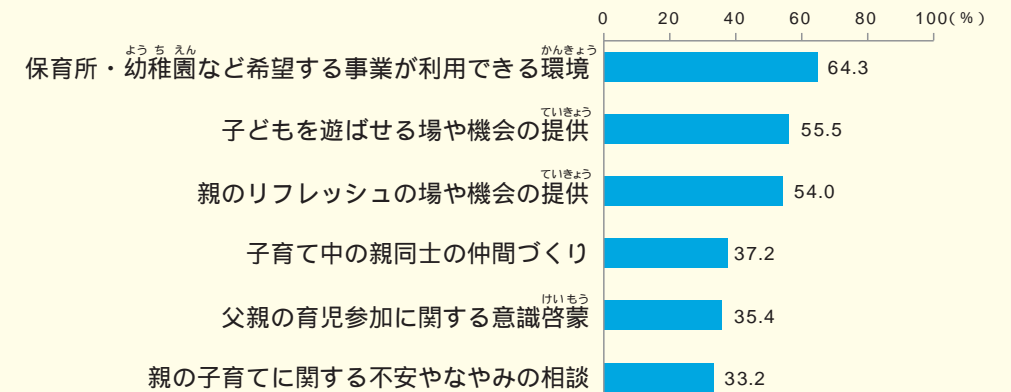
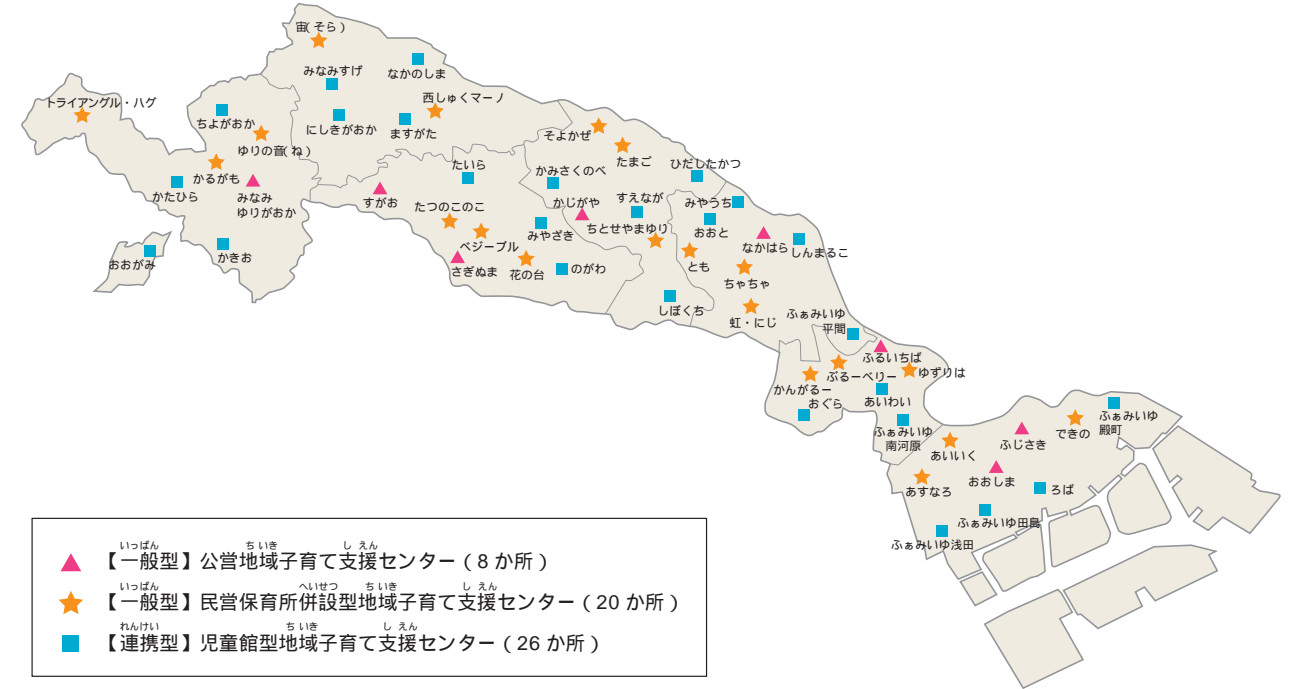
地域子育て支援センターでは、保育園や幼稚園にまだ入園していない子どもたちとその保護者が利用する施設です。子どもたちは、おもちゃで遊んだり絵本を読み聞かせてもらったりして、楽しく過ごしています。子どもにとっては、初めて自分の親ではない人とかかわることになります。支援センターは、社会性を学ぶ場所でもあります。

ちいき しえん
地域子育て支援センター 花の台 堀内園長先生のお話



地域子育て支援センターの役割は2つあります。1つは子どもを育てる手助けをすること、もう1つは保護者がかかえている子育てについての不安を少しでも取り除くことです。川崎市には、多くの方が引っこしてきます。周りに知り合いがいない方も、気軽に相談できるような施設を目指しています。また、親同士のつながりができるような「かけはし」となることも、支援センターの大切な役割です。

かわさき ちいき しえん
川崎市地域子育て支援センター分布図(令和3年度現在)



「出典 平成31年 川崎市 子ども・子育て支援に関する利用ニーズ調査報告書」より

安心して子育てを行うために、あればよいと思うサポート(保護者7661人、上位6位)

ちいき しえん
地域子育て支援センター 花の台 を利用している方のお話

わたしは、川崎市から遠い場所から引っこしてきました。周りにあまり友達がいなかったため、先生や他の保護者の方に子育てについての相談を聞いていただきたくて支援センターに通っています。不安だった気持ちが晴れたり、友達と話をしたりして、気分転換することができます。

わくわくプラザ

わくわくプラザのどのよ
うなところが便利なのかな。



わくわくプラザってこんなところ！

- 全市立小学校にあります。
- 放課後のほか、土曜日・夏休みなどでも利用できます。
- 学校内にあるので、場所を移動する必要がなく安全です。
- 登録すればみんな利用できます。
- 希望する曜日・時間帯だけでも利用できます。
- 午後6時まで（延長の申込をした人は7時まで）利用できるの
保護者が働いている家庭にとっても便利です。
- 保護者が休みで家にいる場合も利用できます。



こと
異なった学年とも交流できると
ころがわくわくプラザのよさです。

さまざまな行事を地域のボランティア
をつのりながら企画しています。



みんなが安心して暮ら
せるようにわくわくプラ
ザがつくられたんだ。



川崎市 こども未来局 青少年支援室の方のお話

わくわくプラザは、子どもの放課後の安全な居場所と、遊びや仲間づくりの場所としてつくられました。わくわくプラザには、いろいろな相談や要望が寄せられます。こうした相談や要望を受けて、子どもたちが仲よく元気に過ごし、みなさんが安心して暮らせるように話し合ったり、改善したりしています。

利用している保護者のお話

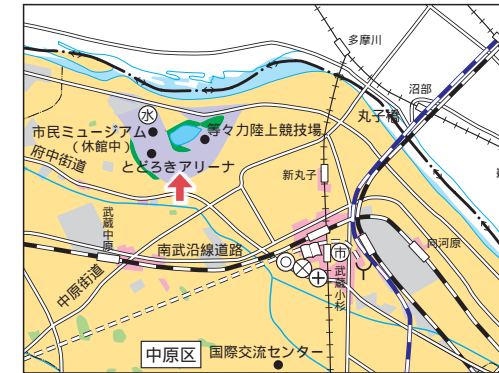
わくわくプラザがあることで、放課後仕事で家にいない時や、学校が休みの期間も預けられるので助かっています。安心して子育てができるようになりました。また、学年の違う子どもたちと遊べることで、交流の輪も以前より広がりました。

地域の方のお話

わくわくプラザで行われるイベントに参加することで、地域の子もたちとふれ合うよい場となっています。また、それをきっかけに地域で会っても自然とあいさつができるので、地域全体で子どもたちを見守ることにもつながっています。

わくわくプラザができたことで、子どもを安心して預けられたり、かかわる場が
できたりと、子どもだけでなく保護者や地域の人の生活も豊かになったんだね。

とどろき 等々力球場



とどろき 等々力球場ができるまで

- 2008年 老朽化した等々力球場の全面改修に関する請願が出されました。等々力球場の改築もふくめた全面改修を求めて、市民の方から市議会議長あてに提出されました。
- 2009年 審査の結果、全会一致で採択されました。その後、さまざまな話し合いが行われ、等々力球場の改修が始まりました。
- 2020年 等々力球場がリニューアルオープンしました。

川崎市の担当の方のお話

等々力球場の改築の決定をもとに、全面改修をするための計画を立てました。計画する際には、主に利用する団体や川崎市民に意見を聞いて、みんなが使いやすい等々力球場をつくれるようにしました。
緑政局やまちづくり局などが協力して、2020（令和2）年に完成しました。

とどろき 等々力球場には、野球を する以外の役割もあります。



防災備蓄倉庫



老人いこいの家

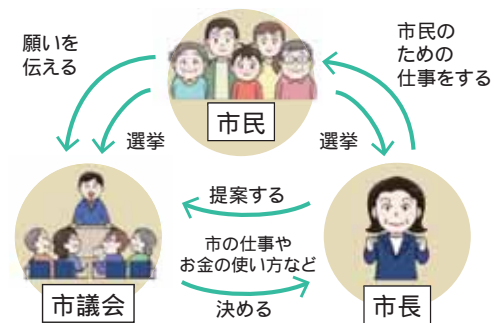
老人いこいの家を利用している方のお話

等々力球場が改修されたことで、いこいの家が使いやすくなりました。また、施設がきれいになり、いろいろなイベントの企画にも参加しやすくなりました。

川崎市議会では、どんなことをしているのでしょうか

水道、道路、学校、公園などをつくったり、管理したりするのは主に川崎市の仕事で、どれも大切なことばかりです。ですからみんなで話し合い、つくり方や使い方を決めることが必要です。しかし、市民が全員で話し合うのは難しいため、選挙で選ばれた代表者（＝議員）が、みんなの代わりに話し合いをします。それが市議会です。

川崎市議会は選挙で選ばれた市議会議員の集まる場です。市議会では市長や議員からの提案をもとにいろいろな問題を話し合い、市の仕事の内容ややり方を決めます。また議会で決めたことが正しく行われているか、市民の暮らしにどのように役立っているのかをチェックする役目ももっています。



市民からの提案をもとにいろいろな問題を話し合い、市の仕事の内容ややり方を決めます。また議会で決めたことが正しく行われているか、市民の暮らしにどのように役立っているのかをチェックする役目ももっています。

市議会と市長はお互いに意見を出し合い、協力して、より良い市民生活ができるように取り組んでいます。



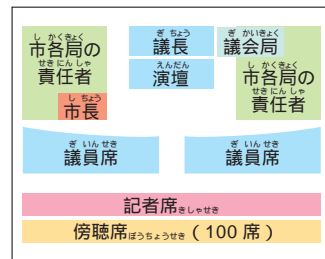
議場はどんなところでしょう



傍聴席から見た議場（本会議場）の様子



記者席と傍聴席（上）親子傍聴席（下）



議員は一人一人が、すべて市民の代表者です。だれもが責任をもった発言がしやすいように、席の向きや配置が工夫されています。



税金の使いみち

【税金のはたらき】

- 所得税.....個人が得た所得にかかる税金
- 法人税.....会社が得た所得にかかる税金
- 消費税.....商品を買ったときなどにかかる税金
- 住民税.....住んでいる地域に納める税金
- 固定資産税.....土地や建物などにかかる税金

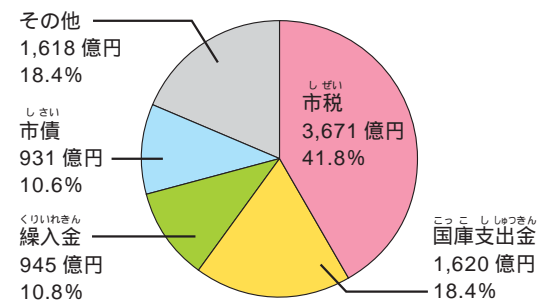
納める

地域子育て支援センターやわくわくプラザなどを設置したお金は、市民が納めた税金が使われているんだね。



川崎市では1年間にどんな収入があるのでしょうか。

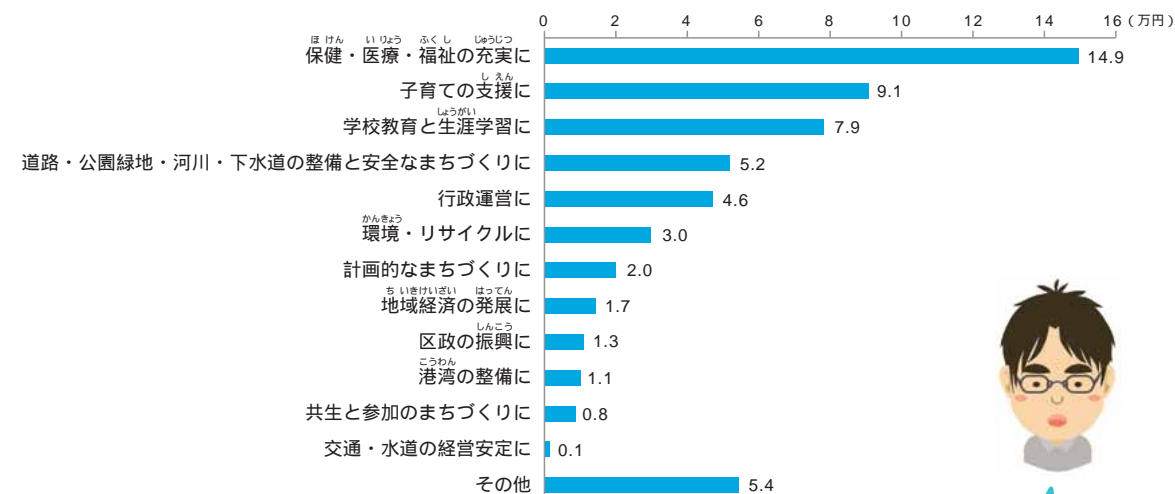
令和4年度 一般会計予算 8,785億円



予算（市の1年間の収入と支出を計画するものです。）
 市税（市民や会社などが市に納める税金です。）
 国庫支出金（国が市のために支出するものです。）
 繰入金（市の他の会計から組み入れたものです。）
 市債（公共施設の建設のために借り入れるものです。）

収入はどんなことに使われているのでしょうか。

市民一人当たりの予算の使いみち（市民一人当たりの予算は約57万円になります。）



市民の要望を市議会で代表者が話し合って予算を決めています。また、市議会では予算のほか、地域にかかわるきまり（条例）なども決めています。